

グループ株式会社
〒203-8511 東京都東久留米市前沢3-14-16
お客様センター(無料) TEL: 0120-506-204

安全上のご注意
●本機は防水仕様ではありません。水没した場合は直ちに使用を中止し、速やかに電池を抜き、お買い上げ店又は弊社お客様センターにご相談ください。

警告
取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される場合や軽傷または物的損害が発生する頻度が高い場合を示します。

注意
取り扱いを誤った場合、軽傷を負う危険性が想定される場合、並びに物的損害のみが発生が想定される場合を示します。

この表示は、決してしてはいけない「禁止」を示します。

この表示は、必ず実行していただく「強制」を示します。

お手入れの方法

巻き糸やリール本体には、潤滑剤やコーティング剤を使用しないでください。作動不良・樹脂の破損などの原因になります。

オーバーホール

本リールを末長くお使いいただくためにも、年に一度は弊社アフターサービス部門にオーバーホールに出されることをお勧めします。(有償)

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、弊社商品ホームページのFAQをご確認ください。

警告
電動リール本機について
●電源は、アルカリ電池以外使用しないでください。
●万が一、使用中に異常な音、異常な発熱、焦げ臭い、煙が出るなどの異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、速やかに電源を切り、電池を抜いてお買い上げ店またはお客様センターにご相談ください。

注意
電動リール本機について
●直射日光・高温・多湿の状態でご保管されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。下記お手入れを実施後、風通しの良い場所に保管してください。
●釣りの目的に使用しないでください。
●子供または幼児の手の届かないところに保管してください。

各部の名称
ロッド取り付け穴
船べり停止ガイド
ふんばるレグプレート
ラインストッパー
巻き上げスイッチ
クラッチレバー
カウンター
スイッチA
スイッチB
名人スイッチ

各部の動き

1 水深カウンター
10cm単位で表示します。
●カウンターは目安となります。糸の巻き込み過ぎにご注意ください。
●船べり停止機能は3種類あります。

2 巻き上げスピード調整
10段階で変更可能です。(初期設定5)スイッチAを押すと、スピードが上がっていきます。最大スピード時(H)に押し、最低スピード(L)になります。

3 巻き上げスイッチ
左右どちらかのスイッチを押すとチョイ巻きになります。1秒以上巻き上げスイッチを押すと連続巻きになります。

4 棚止設定方法 (CRS+ 対応)

だんだん棚止がセットされた状態
棚止がセットされた状態
棚止が解除された状態
※水深カウンター1.0m以上から作動します。

5 追い食い巻き上げ (CRS+対応)

左右の巻き上げスイッチを同時押しすると、スロースピードで巻き上げることで他のハリに追い食い(多点掛け)を促す、「追い食い巻き上げ」になります。

6 名人誘い (CRS+対応)

誘いを開始したい水深(棚)まで仕掛けを落とし、クラッチをロックしてください。
●名人スイッチを押すと、押しした水深(棚)を起点に名人誘いモードに入り、誘いが繰り返されます。
●名人誘いは名人誘いモードを解除しない限り、その水深(棚)に仕掛けが到達すると、自動棚止して、名人誘いが再開されます。

操作方法

1 電池仕様機種種の電池の入れ方
●図1の様に電池カバーを開け、上方向に引いて外してください。(無理に力を加えると破損する恐れがあります。)
●図2の様に電池カバーを本体に装着し、電池取り出しテープがはみ出さないように電池カバーを閉めてください。

2 電源の入れ方・切り方
●スイッチAを2秒以上押しすると電源が入ります。
●電源を切る際も、スイッチAを2秒以上押ししてください。(電源ONの状態でも1時間放置しますと、電源が自動的に切れます。)

3 道糸の巻き方

●スプールに糸を結び、スイッチAを押し電源を入れてください。
●船べり停止ガイドに通さずに、巻き上げスイッチを押し均等になるように巻いてください。
●道糸にはPEラインをご使用ください。

4 ラインの設定

●出荷時にPE0.2号・30mlは入力済みです。
●その他の号数・長さの場合、本取扱説明書裏面「機能設定クイックマニュアル」⑥ライン設定を参照し、設定してください。

5 ロッド(穂先)の取り付け方

●リールのロッド(穂先)取り付け穴は、φ5mmとなっております。
●ロッド取り付け穴に奥まで差し込み、しっかりと固定されていることを確認してください。

6 糸の通し方・丸カンへの通し方

●糸の巻き過ぎによるロッドの破損を防ぐために、右図を参考に丸カンとリーダーを結んでください。
①スプールより道糸を引き出し、船べり停止ガイドに通してください。

7 糸の出し方・止め方

●クラッチレバーを右側に倒してください。スプールフリー状態になり、仕掛けを落下させることができます。
●棚に到着したら、クラッチレバーを左側に倒すと、巻き上げスイッチを押すとスプールがロックされます。

8 ラインストッパーの使い方

●スプールに3箇所付いているラインストッパーに糸を引っ掛けると、毎回同じ場所で停止させることができます。(外れやすい時は二重に引っ掛けてください。)

9 電源OFFにした時の設定データ保存

●一度電源を切ると巻き上げスピード以外がクリアされます。ただし設定条件はメモリーされており、再設定の必要はありません。

ふんばるレグプレートのセッティング方法 (CRS+のみ)

ふんばるレグプレートの金属製の支えは前後に移動することができます。リールの前方に移動させて安定する位置でご使用ください。

モーターチューブ/スプールシール(別売)の交換方法

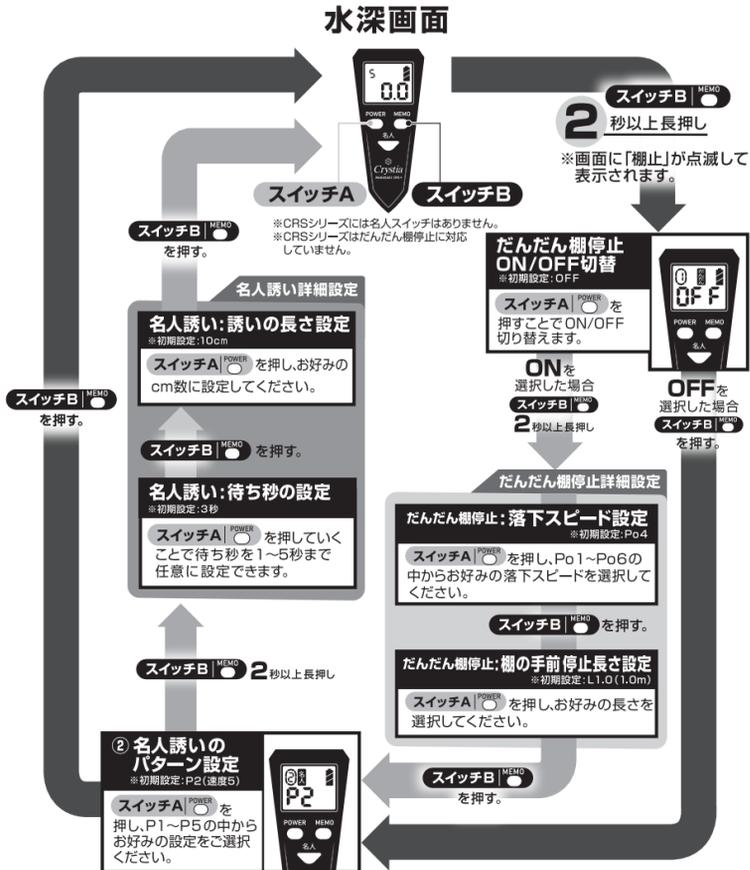
モーターチューブやスプールシールは消耗品であり、長期間のご使用により回転異音やスプールのスリップなど性能が低下する可能性があります。

モーターチューブの交換
①モーター上部を左図の様に指で引っ掛けて、モーターを傾けます。
②チューブを引き抜きます。

スプールシールの交換
①スプールシールを剥がします。その際、スプールに付着しているノリやゴミなどキレイに取り除いてください。
②新しいスプールシールを貼って完了です。

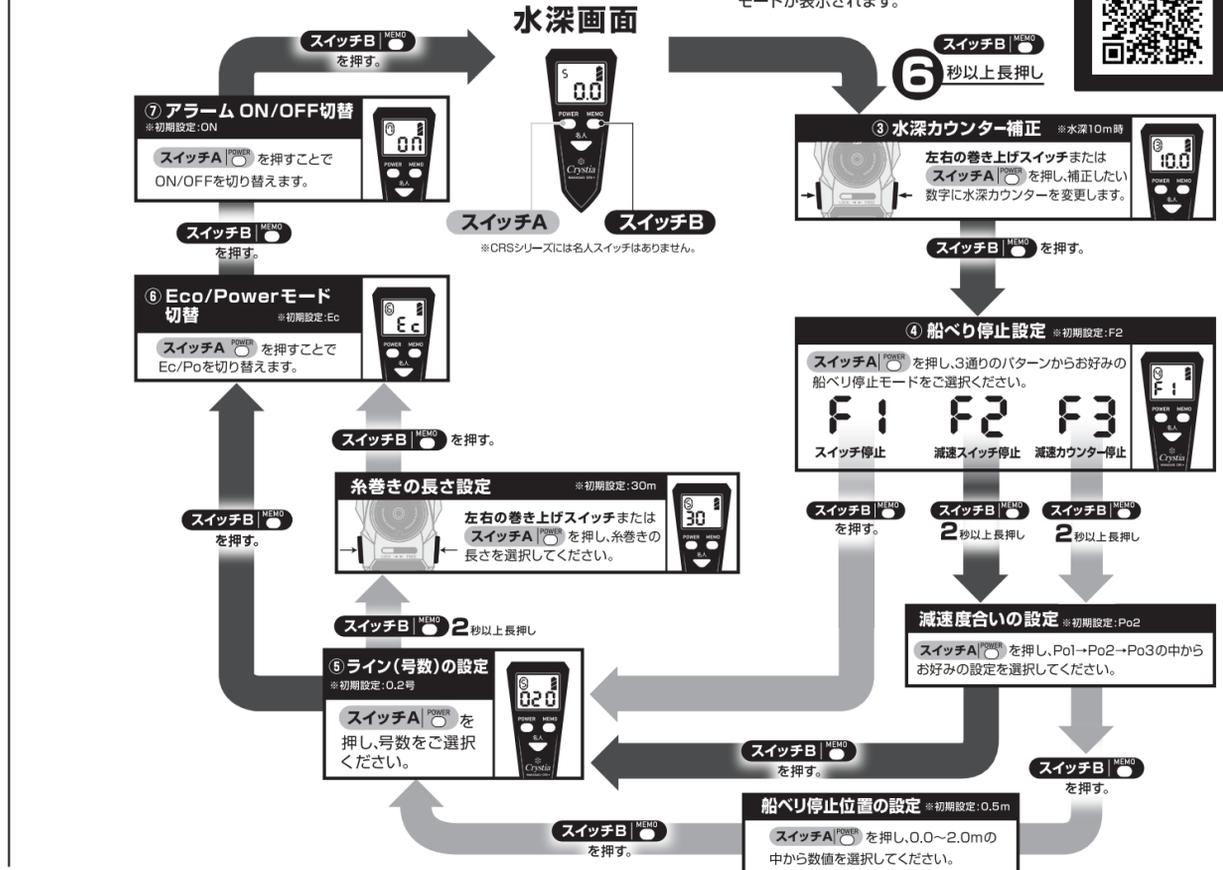
## 機能設定モードA

便利機能を設定するモードです。スイッチBを2秒以上長押しすると設定モードAに入ります。



## 機能設定モードB

基本機能を設定するモードです。スイッチBを6秒以上長押しすると設定モードBに入ります。



設定動画は下記のQRコードを参照ください。



### 設定の詳細は下記の各設定方法を参照してください。

#### ① だんだん棚停止の設定方法

オモリを棚まで落とす時、魚群を散らさないようにゆっくり落とす機能です。設定した欄の手前1mでクラッチをONにし、スプールを止め、低速で棚まで落とします。

- 水深画面からスイッチBを2秒以上押し、だんだん棚停止設定モードに入ります。
- カウンター左側に①の文字、右側に「だんだん」(点滅)が表示されます。(OFFはだんだん棚停止機能オフ、ONはだんだん棚停止機能オン) ※初期設定はOFFです。
- スイッチAを押すと、ON/OFFからONを選択できます。

#### ② もっと選べる名人誘いのパターン設定方法

水深画面からスイッチBを2秒以上押しすると機能設定モードAに入ります。さらにスイッチBを1回押しするとカウンター左側に①の文字、右側に「名人」(点滅)と下側に現在選択されている名人誘いのパターンの番号が表示されます。

スイッチAを押すと、以下の5通りの名人誘いから好みのパターンを数字で選べます。

スイッチBを押すと設定完了です。

パターン	説明
P1	10cm上げて10cm下げて3秒止め×5回繰り返す。30cm上げて30cm下げて3秒止めるを繰り返す。
P2	10cm×3回、合計30cm上げて30cm下げて、3秒止め×5回繰り返す。60cm上げて60cm下げて3秒止めるを繰り返す。
P3	10cm×5回、合計50cm上げて50cm下げて、3秒止め×5回繰り返す。90cm上げて90cm下げて3秒止めるを繰り返す。
P4	約5cm上下3回～3秒止め×5回繰り返す。30cm上げて30cm下げて3秒止めるを繰り返す。
P5	10cm上げて2秒止め×10回、合計100cm上げて100cm下げて3秒止めるを繰り返す。

#### ③ 水深カウンター補正の設定方法

お手持ちの魚探の水深表示とリールの水深カウンター表示を一致させることで、より精度の高い精度の高い取りが可能です。

(例)リールの水深カウンター「10.0」を魚探の水深表示「10.8」に補正する

- 水深画面からスイッチBを6秒以上押しすると水深カウンター補正画面になります。
- スイッチAまたは左右の巻き上げスイッチで補正したい数字に水深カウンターを変更します。
- スイッチBを2秒以上押しすると水深画面に戻り、設定完了です。

#### ④ 選べる船べり停止の設定方法

水深画面からスイッチBを6秒以上押しして機能設定モードBに入ります。

① 水深画面からスイッチBを6秒以上押しすると水深画面に戻り、現在選択されている船べり停止番号が表示されます。(左図は初期設定の「F2=減速スイッチ停止」が選択されている例です。)

② スイッチAを押すと、以下の3通りの船べり停止から好みの方法を数字で選べます。(スイッチAを押すたびに以下の3つの画面が切り替わります。)

③ 選みたい番号が表示されている状態で、スイッチBを押すと、設定完了です。

F1 = スイッチ停止 F2 = 減速スイッチ停止 F3 = 減速カウンター停止

#### 名人誘いの「待ち秒」・「誘い長さ」の変更

名人誘いの停止時間「待ち秒」と誘い幅「誘い長さ」が設定できるのでさらに誘いパターンが広がります。

##### 設定方法

名人誘い選択画面からスイッチBを2秒以上押し、スイッチAで1～5秒の1秒単位で「待ち秒」を選べます。(右図は初期設定P2の「待ち秒」3秒が選択されている例です。)

再度スイッチBを押してからスイッチAを押すことで「誘い長さ」を選択できます。設定後、スイッチBを2秒以上押しすると水深画面に戻り、設定完了です。(右図はP4の「誘い長さ」5cmです。)

#### ⑤ ライン(号数)設定の操作方法

水深画面からスイッチBを6秒以上押しして機能設定モードBに入ります。さらにスイッチBを2回押しするとカウンター左側に②の文字、下側に現在選択されているPEラインの番号が表示されます。(左図020は初期設定のPEライン0.2号が選択されている例です。)

スイッチAを押してPEラインの数字を選びます。(号数がない場合は近い数字を選んでください。)

スイッチBを2秒以上押しして、PEラインの長さをスイッチAまたは巻き上げスイッチで設定します(5～99.9mまで)。左スイッチで数字が増え、右スイッチで数字が減ります。(左図は初期設定の30mが選択されている例です。)

スイッチBを2秒以上押しすると水面画面に戻り、設定完了。

#### ⑥ Eco/Powerモードの設定方法

パワーモードは重いオモリなど高負荷時にスプール滑りにくくするため、モーターが使用時にブレーキを掛けるモードです。エコモードはブレーキを掛けないので電池が長持ちするシステムです。

- 水深画面から、スイッチBを6秒以上押しして機能設定モードBに入ります。
- さらにスイッチBを3回押しすると、カウンター左側に③の文字、下側に文字が表示されパワーモード/エコモード設定画面になります。(Poはパワーモード、Ecはエコモードです。)
- 初期設定はエコモードです。
- スイッチAを押して、EcかPoを選んでください。(図はパワーモードを選んだ場合の例です。)
- お好みのモードを選んだ状態で、スイッチBを2秒以上押しすると水深画面に戻り、設定完了です。

#### ⑦ アラーム設定方法

水深画面から、スイッチBを6秒以上押しして機能設定モードBに入ります。

さらにスイッチBを4回押しすると、アラーム設定画面になります。カウンター左側に④の文字が表示され、下側に文字が表示されます。ONはアラームON、OFFはアラームOFFになります。 ※初期設定はアラームONです。

スイッチAを押して、ONかOFFを選んでください。(左図はOFFを選んだ場合の例です。)

#### ⑧ オールリセット

電源OFF状態からスイッチBと巻き上げボタン(左右)を同時に押しながらスイッチAを6秒以上長押し、表示がされたらボタンを離してください。

② 水面画面が「888～000」までローテーション表示し、最後に「CLR」が表示されます。

③ スイッチBを2秒以上長押しすると水深画面に戻ります。スイッチAを2秒以上押し、電源をOFFにすることでオールリセットされます。

#### ⑧ 減速度の選択画面

スイッチBを2秒以上押しすると減速度の選択画面になります。

スイッチAを押してPo1～Po3減速スピードを選びます。(図は初期設定のPo2です。)

お好みの減速スピードが表示される状態で、スイッチBを2秒以上押しすると水深画面に戻り、設定完了です。

(Po1: スロー、Po2: ノーマル、Po3: パワー)